



# あなたの笑顔を支えたい

本市では「ここで暮らしてよかった」と思える「支え合い」や「助け合い」の地域づくりを進めています。高齢者が地域で安心して自分らしく暮らせることを目的に、住民同士の支えあいを推進する「生活支援コーディネーター」が、現在市内8中学校区で活動しています。また、地域で暮らすさまざまな役割を担う人たち（区長会・民生委員・活性化協議会・NPO・老人クラブなど）とともに「第2層協議体」を設置し、支え合いの地域づくりに向けた活動を進めています。

## 生活支援コーディネーターとは

地域での生活支援や介護予防などに取り組み、安心して生活できる地域づくりを推進します。地域に出向き、地域の中でどんな活動や支え合いがあるのか、どんなことに困っているのかを把握し、サロン活動の活性化や新たな生活支援の取り組みを支援します。

【例えば…】

- 健康体操グループや高齢者サロンなどの立ち上げ支援
- 高齢者サロンなどの企画、運営などの助言
- 住民主体の生活支援（家事支援、移動支援、見守り支援など）の立ち上げ支援
- 支え合いの地域づくりに向けた「地域学習会」、「ワークショップ」の開催支援
- 団体、グループ間を繋ぐネットワークづくり
- 支え合い活動をしたい人や利用したい人を団体や活動に繋ぐ など

## 協議体とは

本市では、市全体という広い視点で協議する「第1層協議体」と身近な地域（中学校区単位）で協議する「第2層協議体」があります。第2層協議体は、地域の住民や生活支援や介護予防を行っている団体などの定期的な情報共有、連携強化の場として設置しています。生活支援コーディネーターが協議の場の中心となり、さまざまな役割を担う人たちが一緒になって地域課題を解決できる地域づくりに向けて協議します。

【例えば…】

- 高齢者が社会参加するために必要な移動手段の確保に向けた学習
- 関係団体の課題などの情報共有とそれに対する支援
- 地域の素敵な活動と、地域の担い手の発掘
- 地域における支え合い活動を支援するための学習会、ワークショップの実施 など

## 令和3年度の第2層協議体の取り組みのひとつ

